

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和 7 年度 第 1 回 加須市下水道事業審議会
開催日時	令和 7 年 8 月 4 日（月） 午前 10 時 30 分から午前 11 時 40 分まで
開催場所	加須市環境浄化センター 2 階 会議室
議長氏名	齊藤善孝会長
出席委員	齊藤善孝会長、花井毅会長代理 竹村弘委員、齋藤敏明委員、永田庄治委員、榎本彰委員、 梅田正義委員、正能修一委員、興石康男委員、西村洋三委員、 川畑久子委員、大内紀美子委員
欠席委員	町田朗委員、鈴木君恵委員、増田浩之委員
会議次第	1 開 会 2 委 嘱 3 市長あいさつ 4 会長あいさつ 5 議事 （1）第 3 次加須市公共下水道事業中期経営計画の進捗状況につ いて （2）川口地区の下水道整備について 6 その他 （1）社会資本総合整備計画の事後評価について （2）マンホールカード（騎西地域）の作成・配布について 7 閉 会
会議資料の名称	資料 1 第 3 次加須市公共下水道事業中期経営計画の進捗状況につ いて 資料 2 川口地区の下水道整備について 資料 3 社会資本総合整備計画の事後評価について
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	－
傍聴者の数	0
説明者の職・氏名	上下水道部副部長兼下水道課長 小川 修一
事務局職員職・氏 名	上下水道部長 柿沼 順、上下水道部副部長兼下水道課長 小川修一 同課主幹 石井光晴、同課主幹 島田一博、同課主幹 江原義和 同課主任 金久保紀子

会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	なし

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容等)
事務局（江原主幹）	開会
【委嘱】	
角田市長	大内紀美子委員へ委嘱
【市長あいさつ】	
角田市長	市長あいさつ
【会長あいさつ】	
齊藤会長	会長あいさつ
【議事】（1）第3次加須市公共下水道事業中期経営計画の進捗状況について	
事務局	事務局（小川副部長兼課長）より説明
【議事】（2）川口地区の下水道整備について	
事務局	事務局（小川副部長兼課長）より説明
【質疑・意見】	
齊藤会長（議長）	ただいま事務局より資料についての説明がありましたが、ご質問やご意見をいただきたいと思います。
齊藤会長（議長）	誰もいないようですので、私から。 資料の3ページ、老朽化の状況の箇所で、今回はじめて50年以上経過した管渠が0.8%あるとのことで、今後の見通しや対策はあるのか。
事務局（小川副部長兼課長）	今後、50年以上経過する管渠が増えていく中で、管渠だけでなく処理場も含め、下水道施設の点検、調査、修繕、更新をするため、令和8年度からストックマネジメント計画の策定に着手します。その中で、優先順位などを定めて対策を講じていきたいと考えています。
齊藤（敏）委員	管渠とは何か。
事務局（小川副部長兼課長）	一般家庭等から処理場まで汚水等が流れてくる管のことです。
興石委員	資料の2ページに水洗化率が83.5%とあり、残りの16.5%の方は接続していない。このような状況の中、接続率を100%にするために強制力を働かせることは難しいのか。 また、虫、草、悪臭など、接続していない方がいると近所から自治会へ苦情をもらう。苦情に対する対応に苦慮している。
事務局（江原主幹）	法的に強制力がないため、市としても接続のお願いになってしまい

	ます。しかしながら、昨年度、ある地域で同じような苦情をいただいたときに、そのエリアの方にミニ集会を開くよう提案し、開催しました。その中で、私から、接続のお願いや、貸付金・助成金制度について、周知をさせていただきました。 一方、既に接続されている皆さんにもミニ集会に参加していただき、未接続者に対し、私と一緒に接続を促していただきました。 引き続き、市民の皆さんと一緒に、普及啓発に努めていきたいと考えています。
西村委員	資料の 4 ページ、経費回収率が 71.35%とあるが、これを算出する上で、滞納者の使用料は除かれているのか。
事務局(江原主幹)	公営企業会計において、経費回収率は滞納ありなしに関係ございません。滞納額については、未収金として管理しており、滞納整理については、日々取り組んでいます。
齋藤(敏)委員	資料の 16 ページに県内の状況が載っているが、加須市の水洗化率は 83.8%で県内順位が 49 位と非常に低いと思われる。
事務局(江原主幹)	資料の 7 ページに地域ごとの水洗化率を掲載させていただいております。その中で、加須地域の水洗化率が低い状況です。
齋藤(敏)委員	資料の 7 ページをみると、不動岡地区や田ヶ谷地区の水洗化率が低いが、理由等は把握されているのか。
事務局(江原主幹)	主に、①高齢世帯で住居を継ぐ息子・娘がいない、②経済的理由、③浄化槽がまだ使える、との理由です。
正能委員	経営戦略を基に、この進捗管理調書を作成しているとのことだが、作成するに当たって税理士等の意見を聞いているのか。
事務局(小川副部長兼課長)	決算ごとには聞いていないが、経営戦略を作成する上で、委託先からの意見は伺っています。
事務局(江原主幹)	令和 6 年度については、県市町村課を通じて総務省の公営企業の経営に関するアドバイザー制度を活用しました。
興石委員	資料の 16 ページに県内の処理原価が載っているが、加須市と比べて明らかに安い市があるが、なぜか。
事務局(小川副部長兼課長)	公共下水道には、加須市のように単独で運営しているものと、複数の市町村が集まって県が共同で運営している流域下水道があります。 流域下水道については、複数の市町村が集まっているため人口規模が大きく、一人当たりの処理単価が抑えられます。 電気代や薬剤の単価については、単独も流域も差がない状況です。
事務局(柿沼部長)	一般的に行政においては、市の面積が小さいと公共施設も少なく、コンパクトな運営を行うことができます。 加須市は県南の市と比べて面積も大きいので、管渠も長く、そういっ

	た面では、運営費用は県南より多くなってしまう。
【その他】(1) 社会資本総合整備計画の事後評価について	
事務局	事務局（小川副部長兼課長）より説明
【その他】(2) マンホールカード（騎西地域）の作成・配布について	
事務局	事務局（小川副部長兼課長）より説明
【質疑・意見】	
齊藤会長（議長）	ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問やご意見をいただきたいと思います。
興石委員	冒頭、市長さんからお話があったように7月25日からマンホールカードを配布して、市外から1,050人、県外から1,219人の方が加須市にお越しになっている。また、実物や騎西城をバックに写真を撮っている。 このような中、実物のマンホールの周りは草が生えている。また、マンホールが汚れている。 せっかくカードを配布して誘客を図っているのに、清掃等の管理もお願いしたい。 また、他市の良い事例として、メジャーリーガーのマンホールを設置して、その横に案内板も設置している。マンホールの設置場所については、公共下水道には関係なく、誘客が見込まれる場所を選定している。 加須市には3種類のデザインマンホールがあるため、スタプラリーをやるとか、市全体でもっと盛り上がる企画があつていいと感じる。
事務局（柿沼部長）	貴重なご意見ありがとうございます。 昨年度、カードのほかにコースターを配布しました。この時は、あえてカードとコースターの配布場所を変えました。コースターの配布場所としては、加須地域が加須未来館、騎西地域が騎西城、大利根地域が道の駅と誘客及び経済効果が表れるようにしたものです。今年度もカード配布の隣でこいのぼり手ぬぐいの販売や観光マップ等を配布しました。 委員さんのご意見も参考にしながら、引き続き効果的な配布方法等について検討していきます。
事務局（江原主幹）	閉会
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。 令和7年8月18日 署名 <u>齊藤善孝</u>	